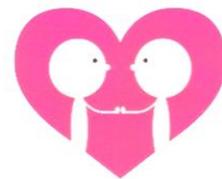




## 明るく、楽しく、元気よく



ある里親委託式で「クリスマスツリーを部屋に出したら、突然子どもがジングルベル♪を歌ったんです。楽しい思い出があったんだなと嬉しくなりました。」と里親さんが教えてくれました。昨年1歳半くらいで経験した記憶が、里親さんとの幸せな場面だからこそ、ほっこりとその子の心に湧いてきたのでしょうか。乳児院で過ごす時間は、ほんのわずか。思い出を言葉に刻むこともできません。それでも、心の原資となるこんな豊かな体験を一つでも多く子どもたちに持たせたいと思っています。

今年も一人ひとりに特別感がありながら、みんなで喜びを分かち合えるクリスマスとなりますように。

真生会 白百合ベビーホーム 理事長/院長 青木紀久代

## ホームカミングデー

毎年この時期に、ベビーホームを退所した児童を招待するホームカミングデーを開催しています。今年は173名の参加がありました。関係者の方々に心より御礼申し上げます。

今回は、子どもたちが生活していたお部屋を回る『ユニットツアー』を行いました。当時の生活の様子を再現するべく、くまのぬいぐるみがおままごとをしていたり、赤ちゃん用のおもちゃが置いてあったりと、各ユニットの装飾の違いも見どころの一つでした。

また恒例のビンゴゲームでは、自分でシールを貼って自分だけのビンゴカードを作りました。「ピンゴー!」「次はうさぎ出してー!」などと楽しそうな声がたくさん上がっており、大盛り上がりでした。景品もたくさんあって悩む子が続出でした。

院内のてくてく広場で採れた柿を最後にお土産として、お渡ししました。また来年も柿の実る時期に、成長した子どもたちと会えることが楽しみです。





## たんぽぽ・すずらん

雨が降ると気温もぐっと下がり、天気も晴れたり雨だったり。そんな雨が降りそうな日に新聞紙と段ボールを使って室内遊びをしました。

始めは新聞紙をビリビリ。小さく切ったり長く切ったりして指先の運動をし、たくさんちぎった新聞紙で紙吹雪を作りました。次に、テーブルに新聞紙を貼ってお家作り。普段入らない狭い空間は子どもたちにとって秘密基地のよう。こしょこしょ話をしてる姿も見られ、雨の日の微笑ましい一コマでした。



## ひまわり・なのほな

ハロウィンは、大きい子は自分で衣装を選び、かぼちゃやデビルに変身。お菓子をもらう合言葉を知っている子は恥ずかしがりながらもしっかり言うことが出来ました。みんなお菓子をもらって大満足です。外遊びでは散歩をしながら、落ち葉遊びをしたり、斜面に登ったりしました。勾配のある斜面もどんどん登って行くのでたくましさを感じられました。落ち葉を足で踏んだり、手で触ってカサカサという音を聞いたり、秋ならではの体験も出来ました。



## あさがお・すみれ

外遊びが大好きなあさがお・すみれの子どもたち。院内の広場に秋を探しに行きました。柿やいちじくの実が沢山実っていて、自分で取ろうと「抱っこして」とちゃーちゃんにおねだり。また、落ちていた柿もそれぞれが思い思いに遊んだり転がしたり、匂いを嗅いだり、五感を使って秋を感じていました。

ハロウィンでは、かぼちゃや魔女の衣装をして部屋を回りました。大きな子たちは「トリックオアトリート！」と元気よく言いながら、楽しんでいました。お菓子をたくさんもらって満足そうな子どもたちでした。



## もも・あんず

秋の味覚“さつまいも”を味わいました。大きい子が手伝ってくれて“さつまいもご飯”を作りました。丁寧に泥を洗い、だし昆布と一緒に炊いたご飯。だし昆布を「つまみぐい〜」と口にしていたのはみんなには秘密。とってもおいしく出来上がり、普段少食な子も「おかわり」と何度もおかわりしていました。

ハロウィンでは好きな衣装を身につけて、お菓子をもらいに出かけました。マントをつけて正義の味方になったり、スカートは何枚も重ね着したり。それぞれが個性的な衣装を楽しみます。もらってきたお菓子を早速ほおばり、大満足の1日でした。

# コンサートリーディング



現在、隔月の木曜日に行われているコンサートリーディングは、相鉄線いずみ中央駅にある「絵本のおうち」より森川美代子さんを講師にお招きしています。

絵本に合わせた音楽を流しながら読み聞かせを行うコンサートリーディングですが、季節の絵本やベビーホームで毎月設定している絵本も取り入れながら読んで下さるので、子どもたちは絵本の世界に引き込まれて楽しく体を揺らしながら参加しています。また、養育者にとっては絵本の読み方等を学ぶ機会にもなっています。中でも子どもたちに好評なのは「せんろはつづく」の絵本。汽車に乗って出発進行！線路をつないで遠くまで出かけるお話となっており、汽車に乗ったつもりでガタゴトととても賑やかです。ベビーホームの後は親子のひろばに移動して地域の親子さんにも絵本を読んで下さいます。森川さんの優しい雰囲気によりゆったりとした時間が広がります。



## ベビーホームの一コマ 『落ち葉遊び』



保育の質向上委員会では、毎月テーマを決めて遊びに取り組んでいます。11月の遊びのテーマは落ち葉遊びです。ユニットそれぞれでテーマに沿った遊びや製作を考えて取り組んでいます。公園では、落ち葉の道の上をカサカサと音を立てながら歩いて音や感触を味わったり、上に投げた落ち葉が落ちてくる様子を観察したりしています。3、4歳の大きい子は、「おおきいね」「いろちがうね」等小さな違いに気が付いたり、両手で落ち葉を挟んで揉み、葉っぱが擦れる音や小さくなっていく感覚を楽しんだりしています。養育者の意図や想像を超えた遊び方や気づきをしてくれる子どもたちです。ユニットや廊下には子ども達の様々な製作が飾ってあるので、いらっしやっただ際にはぜひご覧ください。

# クッキング

10月、11月のクッキングのテーマは『こねる』です。

今年度は子どもの主体性をはぐくむことをねらいとし、できるだけ子どもたちが自分で作ることを目標にクッキングを行っています。



今回は午後のおやつ用にクッキー作りを行いました。

ビニール袋にバターを入れて「もみもみ」。柔らかくなったら砂糖→小麦粉→かたくり粉の順に入れてひとまとまりになるまで「こねこね」。まとまったら次は子どもたちの思うままにクッキーを成形してオーブンへ。

1人1人自分のクッキーを好きな形にこねて作っていました。

今後も沢山の「できた」を経験し、子どもたちの自信につながる食育を行っていききたいと思います。

## 今月の絵本

今年度も保育の質向上委員会で毎月の絵本を選定し、各ユニットで月間を通して読み聞かせを行っています。ベビーホーム全体で毎月の絵本を定めることにより、多様な絵本に触れ、絵本の世界を広げるとともに、他ユニットのお友だちや職員とも共通の絵本や歌を通じてつながりを感じられることをねらいとしています。今年度は、歴代の月間絵本も、改めて毎月の絵本として紹介して読み継いでいきます。

### 11月の絵本

■ すいかくんがね・・・ 作・絵:とよたかずひこ/童心社

すいかくん目線のすいか割りのお話です。身軽にひょいひょい逃げ回るすいかくんの反応とそのたびに変わる可愛らしい表情に注目の一冊。子どもたちも次々変わるすいかくんの反応にグラグラ笑顔になる絵本でした。

■ ねられんねられんかぼちゃのこ 作:やぎゅうげんいちろう/福音館書店

いろいろな生き物がくっついてしまい寝られないかぼちゃのこ。子どもが大好きな生き物の登場に喜んだり、お話の結末に「なんで〜?」と疑問を持つ子、その子なりの反応が楽しめる絵本でした。かぼちゃのこシリーズのねむたいねむたいも合わせて読み聞かせをしている人気の絵本です。

12月は、クリスマスにちなんだ  
次の2冊を月間絵本としています。

■ まどからのおくりもの 作:五味太郎/偕成社

■ クリスマスのふしぎなはこ 文:長谷川摂子 絵:斉藤俊行

発行元	横浜市泉区中田東1-41-3 白百合ベビーホーム
責任者	院長 青木 紀久代
電話	045-803-0398

